



緊急無償資金協力に関するナンブラ州コラーネ再定住地域現場視察

3月24日、三井参事官はモザンビーク・カーボデルガード州とその周辺地域における緊急無償資金協力の拠出先の一部である国際移住機関（IOM）及び国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）のプロジェクト現場視察のためナンブラ州コラーネ国内避難民再定住地域を訪問しました。本再定住地域では UNHCR が女性等の脆弱な人々の保護、IOM がキャンプ内の調整・管理への支援等を実施しています。

なお、我が国政府は、モザンビーク・カーボデルガード州における治安状況の悪化により国内避難民となった人々及びホストコミュニティに対する支援として、計420万ドル（4億6,200万円）の緊急無償資金協力を実施しています。

プレスリリース：https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_008831.html